

5月20日(水曜日)「ユダヤの王ヒゼキヤ」

【新改訳 2017】

Ⅱ 列王記 18・1－8

「彼(ヒゼキヤ)は 25 歳で王となり、エルサレムで 29 年間、王であった。……彼はすべて父祖ダビデが行ったとおりに、主の目にかなうことを行った。……彼はイスラエルの神、主に信頼していた。……」(2－5節)

BC715 年ごろ、アハズ王の子、ヒビキヤが王となりました。彼は、ダビデのように歩んだ信仰の人でした。

北王国イスラエルが崩壊していく様子を見ていたヒゼキヤは、その原因は神への背信にあると悟り、信仰の改善に努めました。高き所を取り除き、石の柱やアシエラ像なども打ち壊しました。また、主に堅くすがって離れることがなかったとも言われています。

このような信仰に立つ王を、主は共におられ、祝福してくださいました。彼は次々と勝利を収め、アッシリアの王にも反逆し、彼に仕えることはしませんでした。神はご自身を第一とし、絶えず信頼する者を必ず祝福してくださるのです。

～祈り～

主よ。あなたをいつも第一にし、あなたの目にかなうことを行う信仰者であらせてください。

【学びのために】

ヒゼキヤ王については、Ⅱ列王18・1－20・21に詳しく記されています。21日、22日の日課も参照。Ⅱ歴代 29-32 章、イザヤ36－39章参照。